



### ありがとう ございました

八千代市赤十字奉仕団様からガキ大将の森にAED（自動体外式除細動器）1台を寄附していただきました。



### 住宅火災に気を付けて 「春の火災予防フェスタ」を撮影

住宅火災対策推進協議会が住宅火災の予防を目的として実施している事業に、消防本部が応募。選考の結果、東消防署で「春の火災予防フェスタ」が撮影されました。

ゲストとして訪れた、タレントのダニエル・カールさんが新しい設備を使った隊員の訓練を見学。放水訓練やはしご車への搭乗を体験しました。

火災から財産や命を守るため、すべての住宅で設置が義務付けられている住宅用の火災警報器のほか、スプリンクラー、ガス警報器、消火器、防災製品を紹介しています。番組は、J:COMチャンネル（11Ch）で3月28日(土)午後2時と29日(日)午後7時30分から放送されます。



▲やっちょ消太くんと火災予防をPR

### 県の指定文化財になって60周年

#### 正覚院の木造釈迦如来立像

村上しょうかくいんの正覚院の創建は、保元年間(1156～58年)と伝えられています。ここには、鎌倉時代のもと言われる、高さ166cmの木造釈迦如来立像が祀られています。市内では唯一の県指定有形文化財で、指定されてから今年で60周年を迎えます。毎年4月の「花祭り」の日に、一日だけ御開帳されます。

参道左の釈迦堂には、八千代八福神毘沙門天のりりしい姿を見ることもできます。

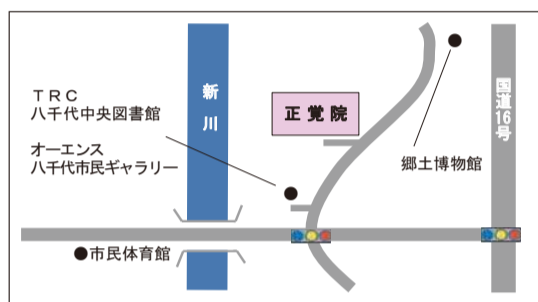
#### 【正覚院に伝わる“おしどり伝説”】

その昔、村上あたりは阿蘇沼といわれる湿地帯でした。そこに狩りが好きで、平真円たいらのしんえんという侍が住んでいました。

ある日、弓で1羽のオシドリを仕留めて、喜んで家に帰りました。その夜のことで。美しい女性が現れて「あなたは私の夫を殺した」と涙ながらに訴え「日くるれば誘ひしものを阿蘇沼のまこもかくれの一人寝ぞ憂き」という歌を残して去っていきました。翌朝外を見ると、昨日仕留めたオシドリと並んで、もう1羽がくちばしを合わせて死んでいました。その姿を見た真円は、自分の罪の深さを悔いて、もう二度と殺生はしないと誓い、出家して池のほとりに寺を開きました。それが、今の正覚院だといわれています。



◀「木造釈迦如来立像」。郷土博物館で2分の1の模刻像を常設展示



### 市民伝言板

市民の皆さんの依頼に基づいて掲載していますので、内容についての責任は負いかねます。

- 子どもネット八千代の事業
  - ①おもしろサウンドパーク プロのミュージシャンによるドラムやラップ体験とミニコンサート。幼児～小学生対象。定員30人、幼児は保護者付き添い。5月6日(休)13時～15時、勝田台文化センター。1,000円
  - ②こどもの国2020 こども市、子ども同士で物々交換。おもちゃ病院でおもちゃドクターの診察。5月6日(休)10時～12時、勝田台文化センター。200円
  - ③ガキ大将の森であそぼう 森の遊び体験・火おこし体験。幼児～低学年の親子対象。定員20組。6月6日(土)10時～15時、ガキ大将の森。3歳以上500円。いずれも申し込みは、平日10時～16時 同事務局・三浦 ☎486-4699へ

●八千代オイコス米づくり体験みんなどろんこになって米づくりを楽しもう やちよ農業交流センター近くの島田谷津で、5月6日(休)の田植えから稲刈り、脱穀まで手作業で米づくりを体験します。小学生以上(小・中学生は保護者同伴)。先着30人。大人3,000円、子ども1,000円。別途保険料。説明会を4月19日(日)10時から、やちよ農業交流センターで行います。申し込みは、4月5日(日)までにメールでNPO法人八千代オイコス・金室 ☎070-3998-8851 ☒ desk@yachiyo-oikos.jpへ。この事業は市民活動団体支援金交付制度申請事業です。



### やちよ川柳

#### 八千代川柳連盟選

古希だつてルーキーになるヨガサロン 八千代台北 渡邊ひろし  
 老骨がしぶしぶ動くスクワット 萱田町 渡邊 昭二  
 強すぎる警戒心が善意避け 村上 菊田差知子  
 お見舞いの帰りうれしい身の元氣 勝田台 八巻ちほこ  
 仁王像にらむ眼の中蟻住まう 八千代台 伊藤 宙  
 言い負けて庭に降りての草むしり 大和田新田 江頭 牛歩  
 一列に並んで今日は何詫びる 大和田 西谷 洋子  
 傘の中ときめく肩にそっと触れ 勝田台 伊藤ばん子  
 お洒落して昼カラオケのお年寄り 勝田台 渡辺ひとし  
 光秀が麒麟に化けて本能寺 八千代台北 小川 剛毅  
 豆まいた年の数だけ食べられぬ 緑が丘 土屋 康子

### 八千代歌壇

#### 佐波 洋子選

ねむい目で朝やけが好きとベトナム人「みんなの日本語」第九課から (八千代台東) 森野 豊作  
 スキー場のテレビ画面を部屋に居て外足荷重かけながら視つ (八千代台西) 吉田 早苗  
 君逝きて幾度の秋や青空に皇帝ダリアの花瑞々し (八千代台南) 桑原 慎子  
 公園の公孫樹きつぱり刈り込まれ家々にはかに師走つきたり (八千代台西) 元村 泰介  
 柿の実を啄む目白の先の枝と見こう見する見張りの一羽 (大和田新田) 諏訪 俊一  
 夫の忌に真赤な林檎供えたり私の好きな冬のりんごよ (吉) 橋 宮谷あや子  
 貴船神社の水占みくじ川に流し拾へば大吉の文字浮かびく (八千代台西) 藤野 宏子  
 若き夫婦は幼なと手つなぎ橋の上ピンクの靴が小春日に躍る (上高野) 上岡あや子  
 耳にせし限界集落吾が里に宿と呼ばれし面影もなく (勝田台) 杉本美恵子

選評 一首目、外国人就労者の為の市のボランティア「みんなの日本語」第九課で「○○が好き」の形を学習したベトナム人が夜の労働と分る初句。それ故朝焼けが好きが胸を打つ。二首目、スキーの放映を観て自然に外足荷重の姿勢を取ったのは心得があるからだろう。下の句にリアリティがある。三首目、秋空に丈高く咲く皇帝ダリアに君を重ねて瑞々しい抒情を出した。

やちよ情報メール  
 防災・防犯・環境・火災・イベント・徘徊高齢者等・健康・市政  
 登録申し込み ☒ yachiyo@sg-m.jp <

